

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	サテライトオフィス運営事業	担当課		担当グループ		作成者(職・氏名)	
		4	産業経済課	41	経済グループ	主任・澤井順英	

実施計画年度(期間)
R 4 年度 ( R4 ~ R6 )

事業評価対象年度
R 3 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	令和 1 年度	事業主体		会計区分		予算科目					
	事業終了年度	令和 7 年度	1	町	1	一般	款	項	目	事業1	事業2	性質別経費
事業の性質	法令に基づかない自主的事業										条例等の有無	有
根拠法令・例規計画等												
総合計画	基本目標	3	みのり豊かなあつま									
	基本施策	12	商工業の振興									
	施策項目	123	企業誘致の推進									
	復旧・復興計画	23	なりわい(仕事)の再生・関係人口・企業との連携による新しい事業の創出									
	総合戦略	11	(しごと)町の資源を生かす持続可能な事業・産業の創出									
政策展開方針(R2~R6)	厚真町強靱化計画	5111	企業誘致の取り組み									
	大項目	3	育成と挑戦									
	中項目	5	次世代の育成と教育環境の充実									
施策項目	3504	サテライトオフィスの誘致推進										

2 事業概要(Plan)

事業の目的	道外の法人やワーケーションの利用等を主なターゲットにし、1週間程度の短期滞在を想定した「リモートワークハウス」と地方での魅力ある執務環境を完備した「シェアサテライトオフィス」を運営し、厚真町の魅力・優位性を発信しながら企業誘致を推進する。
事業の内容(手段・方法等)	新町地区・上厚真地区にそれぞれ2棟ある「リモートワークハウス」、新町地区・上厚真地区にある「シェアサテライトオフィス」、また、シェアサテライトオフィスを長期的に利用する法人・個人向けの住居として「新町サテライト住宅」を管理・運営する。
対象	都市部の企業、町内で事業を行う法人、町内で起業する者等
成果目標	シェアサテライトオフィス利用者(社)数

3 実施結果(Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	H28(前期1)	H29(前期2)	H30(前期3)	R1(前期4)	R2(前期5)	R3(後期1)	R4(後期2)	R5(後期3)	R6(後期4)	R7(後期5)	
	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	
事業費	0	334	1,183	1,268	2,357	2,938	5,292				
特定財源	国支出金	0	0	0	0	0	0				
	道支出金	0	0	0	0	0	0				
	町債	0	0	0	0	0	0				
	その他	0	152	1,183	1,268	1,443	1,651	5,292			
一般財源	0	182	0	0	914	1,287	0				
人件費(※4,000時間数)		690	690	690	690	2,070	1,380				
積算根拠	/					会計年度任用職員報酬226 消耗品費98 燃料費214 光熱水費1,348 修繕料 176 通信運搬費327 火 災保険料102 消防用設備 点検委託料15 草刈業務 委託料64 テレビ受信 料21 光回線工事51 原 材料費40 備品購入費244 レンタカー借上料補助金 12	会計年度任用職員報酬696 消耗品費190 燃料費357 光熱水費2,159 通信運搬 費879 火災保険料244 し尿汲取手数料10 消防 用設備点検委託料40 草 刈業務委託料226 除雪委 託料48 テレビ受信料57 システム使用料134 備品 購入費132 レンタカー借 上料補助金120				
主な年次計画(取組)						/					令和3年度末新町シェアサテライトオフィスの運用開始
ヒアリング指示事項 ※企画調整G記入欄											

② 実績・成果

指標名称(前期)		H28(前期1)		H29(前期2)		H30(前期3)		R1(前期4)		R2(前期5)		R3(後期1)		R4(後期2)		R5(後期3)		R6(後期4)		R7(後期5)		
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	
主な活動指標	シェアサテライトオフィス利用率	目標	—	件	—	%	40	%	50	%	60	%	70	%	70	%	75	%	80	%	80	%
	実績	—	件	—	%	44	%	57	%	58	%	78	%		%		%		%		%	
	達成度	—	%	—	%	110.0	%	114.0	%	97.0	%	111.0	%	—	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																						
主な成果指標	シェアサテライトオフィス利用者(社)数(期間累計)	目標	—	社	—	社	6	社	12	社	18	社	25	社	32	社	39	社	46	社	53	社
	実績	—	社	—	社	7	社	10	社	15	社	26	社		社		社		社		社	
	達成度	—	%	—	%	117.0	%	83.0	%	83.0	%	104.0	%	—	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																						
利用者(社)のうち町内で新規に事業を開始した事業者(社)数						7社		3社		3社		8社										

4 事業の評価(Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	現代における「働き方の改革」及びコロナ禍による企業のテレワークの導入等社会的にも今後ニーズが増加する部門であり、「起業しやすい町」をPRするためにも必要な事業である。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	シェアサテライトオフィスを新町地区・上厚真地区の2地区に設置し、町外企業の支店や事業拠点として、また、個人事業主の事務所として、多くの法人・個人が利用しているため、十分な成果がある。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	施設運営におけるランニングコストについては、徴収する使用料等によりおおむね賄えているため、企業誘致の推進、町内事業者の活性化の観点から費用対効果は十分ある。また、利用者が増えるとその者の消費による地域経済への波及効果が期待できる。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等(Action)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	新町・上厚真地区にシェアサテライトオフィス及びリモートワークハウスを設置、また新町地区にはサテライト住宅を設置し、おおむねハード面の整備は終了したため、運用については最低限現状を維持していくことが必要となる。				
課題および改善提案	シェアサテライトオフィスについて、新築ではなく改修であるため、今後必要な修繕等発生することは想定されるが、高い利用率を維持していくことで、事業費(町費)の圧縮につなげる必要がある。 リモートワークハウスについて、年々利用件数が増加傾向にあり、特に東園からの利用が多いため、引き続き利用率の向上に努め、厚真町の魅力を発信し企業誘致に繋げる。 現代社会に対応した利便性向上のためキャッシュレス決済の導入、また、管理運営についてはアウトソーシングを検討する。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価(本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持	意見
						企業の地方移転やテレワーク勤務が可能な人材の誘致に資することから、現状維持による事業継続が妥当である。改善提案にあるキャッシュレス決済の導入およびアウトソーシングは、サービスの向上につながることから、早期実現を期待する。

7 外部評価(本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 4 年 11 月 22 日	予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
付帯意見(全体意見)	○町の優れた立地や豊かな自然環境のPRにつながり、企業や人材の誘致に資する事業である。 ▶以上から、予算・サービス・方向性を現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。						
その他意見(個別意見)	○引き続き高い水準で利用率が推移・安定するよう、利用者に飽きられないような取組を実施することが望ましい。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 5 年 2 月 28 日
付帯意見に対する回答	○シェアサテライトオフィスは、厚真町の豊かな自然環境の中で、仕事をする拠点として多くの法人・個人事業主にご利用いただいています。リモートワークハウスの利用者は、道外からの利用者が多く、中にはテレワークをしながら移住先を検討しているという利用者もいるため、実際に滞在し、厚真町の自然や立地の利便性を体感していただき、1度の利用だけでなく、継続的に、そして永続的に厚真町と関わっていただけるようPRに努めます。
その他意見に対する回答	○令和3年度末に新町シェアサテライトオフィスが完成し、令和4年度から本格的に運用しています。平成28年度に「お試しサテライトオフィス」の運用開始以降、新町地区と上厚真地区という2地区に施設を整備してきました。新型コロナウイルスの影響によるテレワーク需要が増加し、年々利用者が増加傾向であり当面は必要な施設として利用される見込みではありますが、将来的に高い水準で利用率が安定するよう、利用者のニーズを把握しながらアウトソーシングを検討し、サービスの向上に努めます。